

1. 現体制について

- ・平成17年6月3日に、急遽役員改選
- ・旧役員全員辞任
- ・新役員の教育委員会への挨拶は、不要と言われた
- ・何もかも、体指でやるべきだとの対応で有った  
全ての案内や地区大会の案内から受付まで

2. 各種問題点

受託事業の在り方

- ・本来の目的が、不明確  
委託金の大幅減額（備品購入）  
委託の在り方が、中途半端と思われる
- ・受託範囲が不明確

協議会の運営について

- ・会費について  
19年度より、県の負担金が4,000円にアップ。現在、4,500円徴収。  
16年度迄、2,000円 17年度より、2,500円 19年度より、4,000円  
16年度より、県体指資料代1,500円を全員分県に納める  
19年度より、県体指資料代1,500円を負担金として徴収となる
- ・旧3町については、会費負担は無かった
- ・教育委員会からの補助金について

事務局の在り方

- ・教育委員会との分担が不明確
- ・17年度は、ほとんど協議会が文書作成・発送を行う
- ・18年度は、国や県、教育委員会等の文書はスポーツ振興課より発送
- ・15年度迄、2,000円有った市体指の会費が、県負担金増で500円になった  
受託金の減額で協議会の運営が大変である

体指の在り方

- ・ここ10年、体指の仕事は市全体での行事協力が中心である
- ・前課長は、地域での活動を言われたが、ここ10年地域の事はノータッチに近い
- ・体指推薦の問題  
多くの地区で、前任者を単に推薦している  
会議や研修、行事にほとんど参加しない人が2割～3割

教育委員会と体指の関係

- ・ここ数年、理事会等への出席も少ない
- ・体指公募制が、6,7年前から言われているが、検討会さえ行われない
- ・スポーツ基本計画策定において体指は、蚊帳の外で有った
- ・地区対抗の運営について地区は勿論、市の運営も体指が一番関わっているのに、要綱作成の話し合いさえ参加出来ない
- ・ここ数年、新人体指への教育も体指任せである
- ・体協に重点を置いて、地区体育会や体指の事は、後回しの感がある

総合型地域スポーツクラブへの取組について

- ・総合型地域スポーツクラブ設立を7,8年前から言われていたのに、  
今だ、具体的取組や話し合いの場が無い

九州地区体育指導委員研究大会の開催について

- ・20年度、宮崎県開催（延岡の予定が×・宮崎市に打診有り）